



あと2週間で、夏休み。さぞかし、子どもたちは楽しみ、待ち遠しく思っていることでしょう。長期の休みを利用して、興味関心のあることや課題解決しようと考えを巡らし、探究すること等、この時期にしかできないこともある。しかし、思うほどに問屋は卸してくれないのが、現実ではないでしょうか。お盆過ぎくらいからは、手を付けていない課題から目をそらし、見てみないふりをする。その場をやり過ごして、ほっとしているとどこからともなく

<街道沿いで精出す素山子の皆さん>

「宿題できたんかあ〜、提出日に間に合うんかあ〜」の声が聞こえてくる。

“かあ〜かあ〜”鳥じゃあるまし…と文句たらたら言いながら、何とかやり終えて、夏休みが終了。こんなことなら、もうちょっと、ちゃんと計画立てといたら、よかったのに…とわかっちゃいるけど…。

「今年の夏休みこそは!」、と気合を入れる子どもたちも少なくないでしょう。時代は目まぐるしく変われども、この時期に思うことは、さほど変わらないのでは…ないでしょうか。♪それ〜でも待ってる な・つ・や・す・み〜 !

中学2年生「技術・家庭科」 衣服と社会生活の関わりについて

冠婚葬祭、儀式、祭り等で着用する和服について学ぶ
浴衣の着装をとおして和服と洋服の構成や着方の違いに気付く
機会となりました。(ボランティアの方々にお世話になりました。)



小学校 プールの授業開始



“学校の授業の中で、「歓声のあがる時ベスト5」に入るでしょう。”先生から、注意事項を聞いた後、準備体操、シャワーを浴び、いよいよプールへ。

泳力指導に加えて、水難事故防止策もしっかりと指導を行い、安全・安心を第一に考えてプール指導が展開されました。



■6月29日(木)午後から、宇川小学校にて

丹後学園合同授業研究会が行われました。

・5年生の授業(国語)を参観し、後に分散会をもち参観の視点をもとに協議しました。

・学園では、将来身に付けるべき力をつけるために

じっくり考えたり、仲間と話し合ったりして、学んだことを今後どのように活かしていくのが良いのか等、深い学びとなる授業をめざしています。

また、学習の意欲を高める整然とした環境が整っていることが重要であります。日々の授業では、

教材名「言葉の意味が分かること」

目標:事実と感想、意見等関係を理解し
文章全体の構成をとらえて、要旨をつかむ。

※事例と筆者の考え方の結び方を確かめる。

自分でじっくり考え、適切に判断したことが気兼ねなく発言ができ、学級の中が、安心・安全な居場所となることを重視しています。

- ◇今まで学んできたことを確認させるのに、ICTの効果的があった。
 - ◇子どもたちを揺さぶる投げかけられた言葉によって、熟考する場面が多数見られた。
 - ◇子ども同士の対話の時間保障、気づかせる問いかけ等研鑽を積んでいかねばならない。
 - ◇安心できる学びの環境の大切さが、学力向上の基盤となることを保幼小中で確認できた。
- 等が出され、今回の研修を踏まえ今後の授業実践に役立てようと意見交換がされました。



◆谷口先生からの問いかけに熟考し、発表する子ども達(5年生) ↓

公開授業後の研究協議の様子 ↓



◆先生から七夕のお話に傾聴する子ども達 ↓

❖ 令和5年度丹後学園のめざしていること

★幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿が達成できるよう保育、指導していくこと!

(10の姿・・・健康な心や体、自立心、協調性、言葉による伝え合い等、活動や毎日の遊びを通してめざす共通の目標)



★文章を正しく読み取り、じっくり考え、適切な表現ができるよう指導を展開していくこと!

<具体例>

◆「七夕」について、家庭で聞いてきたことを発表する子ども達 ↓

5歳の活動 ⇒ 絵本や物語に親しむ。言葉による伝え合いを楽しむ。

(指導として、豊かな言葉や表現を身に付けさせる、経験したことや考えを伝える力を付ける)



小1から小2 ⇒ 学習に関する本を読む、読んだ本や文章について感想をもつ。

(指導として、文章の順序を考えたり、比較する。思いや考えを表わす言葉を探す)

小3から小4 ⇒ 学習に関する複数の本を読む。本の内容を説明したり、考えを伝え合ったりする。(指導として、事実と意見を関係づけ、内容や構成をとらえさせる。要約や引用により、根拠を示す)

小5から中1 ⇒ 意見文、解説文を読む。自分の課題に沿って読む。(指導として、自分の考えと比較し、相違点に注意して読む。ものの見方や考え方の違いに気付かせる)

中2から中3 ⇒ 説明文や評論文を読み、自分の考えを述べる。情報を比較して読む。

(指導として、根拠を明らかにして読む力や批評したり考えたりしたことを伝え合う力を付ける)

